

【下水道接続工事の補助金】今年度分が間もなく終了します

公共下水道接続促進事業補助金交付制度

敷地内の排水設備工事（浄化槽などから下水道への切替工事）に補助金を助成する制度が、国の沖縄振興公共投資交付金を活用し、今年の7月から始まりました。

この制度を広く町民のみなさんに活用していただくことで、きれいな海や川を守り、快適な生活環境の向上を目指します。公共下水道への早めの接続をお願いします。

なお、下記表に記載されている建物が補助金の助成対象です。詳しい内容は西原町ホームページまたは建設部上下水道課へお問い合わせください。

合併処理浄化槽を設置している建物	単独処理浄化槽または、汲み取り式便所を設置している建物
工事費が5万円以上の場合……5万円	工事費が10万円以上の場合……10万円
工事費が5万円未満の場合……工事にかかった金額	工事費が10万円未満の場合……工事にかかった金額

※新築建物の工事は除きます。

※補助対象は公共下水道に接続可能になった年から翌々年の12月末日

最後の開庁日までに申請したもの。平成25年以前に接続可能になった区域は、平成27年12月28日までに申請したもの。

申請は補助要綱の条件に合うもので、各年度の申込は、12月末日（最後の開庁日）までとなっています。なお、詳しい内容については建設部上下水道課へお問い合わせください。

※予算上の都合により、上記期日（今年度は、平成25年12月27日）より早めに終了することがあります。その際は、ご了承ください。

お問い合わせ
建設部上下水道課 下水道係
☎945-4934

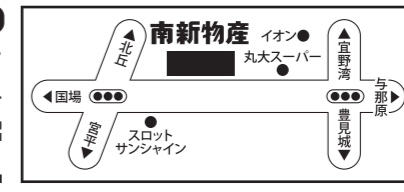
12月保健事業日程

月日	曜日	事業名	対象者	実施場所	受付時間
12月5日	木	2歳児歯科健診	H23.6.3生まれ～H23.9.2生まれ	中央公民館	13:30～15:00
12月8日	日	あがりティーダウォーキング	関心のある方	あがりティーダ公園	8:00～
12月11日	水	ベビースクールⅠ	H25.6.3生まれ～H25.8.2生まれ	中央公民館	13:30～
12月12日	木	3歳児健診	H22.7.24生まれ～H22.8.20生まれ	中央公民館	13:30～14:15
12月16日	月	BCG	3ヶ月～1歳未満	沖縄県総合保健協会	15:30～16:00
12月18日	水	ベビースクールⅡ	H25.6.3生まれ～H25.8.2生まれ	社会福祉センター	13:30～
12月19日	木	1歳半健診	H24.4.8生まれ～H24.5.7生まれ	中央公民館	13:30～14:15
12月22日	日	集団健診	未受診者④	中央公民館	8:00～10:00
12月26日	木	ベビースクールⅢ	H25.6.3生まれ～H25.8.2生まれ	社会福祉センター	10:00～
1月9日	木	1歳半健診	H24.5.8生まれ～H24.6.7生まれ	中央公民館	13:30～14:15
1月12日	日	乳児健診（午前）	H25.2.22生まれ～H25.4.21生まれ	社会福祉センター	9:00～10:30
1月12日	日	乳児健診（午後）	H25.8.25～H25.10.13	社会福祉センター	13:00～14:30
1月12日	日	あがりティーダウォーキング	関心のある方	あがりティーダ公園	8:00～

不動産のことなら創業32年の南新物産におまかせください!



おかげさまで「売買仲介実績1,100件突破!!」
不動産のことでしたら 何なりとお申し付け下さい
沖縄県知事免許(9)第0928号
あなたのホームプランナー



南風原本店
〒901-1104 南風原町字宮平641番地の7
☎(098)889-4007(代)
FAX 889-4033
✉ hae@nanchan.co.jp

<http://www.nanchan.co.jp/Company/>

南新物産 検索

春日井一人さん南極へ出発!

第55次日本南極地域観測隊越冬隊野外観測支援の隊員として、12月に南極へ



春日井一人さん

極寒の地。年中雪と氷におおわれた世界。そんな南極の地で、天文、気象、地質などのさまざまな観測を行い、地球環境の調査研究を行うのが南極地域観測隊です。その観測隊の越冬隊の一員として、西原町民が参加します。それが、春日井一人さんです。

愛知県出身の春日井さんは、琉球大学への進学を機に沖縄にきました。浦添市消防本部に入った後、陸上救助隊、水難救助隊を経て、救急救命士を取得。東日本大震災緊急消防援助隊（沖縄県隊）にも参加しました。そして、約10年前から西原町に住んでいる西原町民です。そんな春日井さんに、南極への出発前にインタビューしました。

Q 南極地域観測隊員を目指したきっかけはなんですか。
〈春日井さん〉子どもの頃に見た映画「南極物語」に出てくるオーロラ、ペンギン、冰山等の景色をこの目で見

てみたいという気持ち、自分の仕事を日本の歴史的な事業に役立てたいという思いで、隊員の募集に応募しました。

Q 隊員を目指して、どんなことをしましたか。努力してきたことなどはありますか。
〈春日井さん〉応募すると決めてからは、ランニングや筋トレなどのトレーニングを普段より増やしました。消防や救急の知識、技術を再確認したり、勉強しなおしたりしました。厳しい身体検査（健康診断）に向けて、食生活には気を付けました。

Q 隊員に選ばれた今、どのような活動をしていますか。
〈春日井さん〉今年の7月から国立極



3月の乗鞍高原で雪上行動訓練。訓練はフル装備だったそうです。

地研究所南極観測センター隊員室に勤務しています。約60人分となる観測隊の個人装備（身に着けるもの）と、野外観測に使うテントや調理器具、レスキュー器材の購入を担当しています。その合間には建設系重機の免許取得や、山岳技術、レスキュー技術、医療機器の取り扱いなどの訓練をしています。最近はお発の日が近くなったので、観測船「しらせ」への物資搬入作業を主にしています。



倉庫で個人装備の配布作業を行う春日井さん

Q 今後の活動予定はどのようになっていますか。
〈春日井さん〉今後はいくつかの訓練を受けて、11月初旬に文部科学省主催の壮行会に出席します。しらせの出航を見送った後、11月22日に成田空港より出発、オーストラリアでしらせに乗り込み、約3週間の航海で12月中旬に南極昭和基地に到着する予定です。



沖縄は暖かい島なので、寒い南極とはまったく関係ないと思うかもしれませんが、同じ空、海でつながっている、日本が続けてきた南極観測によって得られた世界的な発見がいくつもあります。まずは無事に南極へ到着し、そこから私が体験したことを伝えることで、南極観測や、自然科学、地球環境に興味を持ってもらえればと思います。

町民のみなさん、西原の子どもたちにメッセージ

春日井さんは、自身の体験や写真をリアルタイムでお知らせするため、日々の観測隊生活をブログで公開しています。ぜひ、ブログもチェックしてください。→「ハイサイ!南極消防士!」 <http://jare55.ti-da.net/>